

令和3年第1回定例会（2月議会） 産業観光委員会・分科会 提出資料

令和3年2月10日
観光文化スポーツ部

【当初予算関連】

| | | |
|------------|--|----|
| 観光戦略課 | 秋田の魅力発見・発信事業について | 1 |
| | 観光施設魅力向上事業について | 2 |
| 観光振興課 | 秋田の観光宣伝力強化事業について | 3 |
| | 東北デスティネーションキャンペーン推進事業について | 5 |
| | ICT等を活用した受入態勢整備事業について | 6 |
| | インバウンド回復を見据えた情報発信事業について | 7 |
| 秋田うまいもの販売課 | 「世界へ羽ばたけ！秋田の食」輸出・誘客促進事業 について | 8 |
| | 発酵の国あきた魅力発信事業について | 10 |
| | あきた食品産業活性化対策事業について | 12 |
| | 時代に対応する新たなコメ加工産業創造事業について | 13 |
| 交通政策課 | アフターコロナを見据えた交通ネットワーク強化事業 について | 15 |

| | | |
|---------|--|----|
| | 地域公共交通の維持・確保対策関連予算について | 16 |
| | 秋田内陸縦貫鉄道関連予算について | 19 |
| | 由利高原鉄道関連予算について | 21 |
| 文化振興課 | 「東京オリ・パラ」あきたの文化発信事業について | 23 |
| | あきた芸術劇場整備事業について | 25 |
| | あきた芸術劇場開館準備事業について | 27 |
| スポーツ振興課 | スポーツ王国創成事業について | 29 |
| | 県有体育施設整備・改修事業について | 31 |
| | 2020プロジェクト推進事業について | 32 |
| | 第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催事業 について | 34 |

秋田の魅力発見・発信事業について【新規】

観光戦略課

1 目的

マスメディアやSNSなど各媒体を活用し、秋田の魅力を全国に発信することで、本県の認知度を高め、秋田ファンの一層の拡大を図る。

2 概要

(1) 県ゆかりの人とのネットワークの活用 14,645千円

秋田ゆかりの著名人を活用したテレビ番組や冊子等を制作し、本県の魅力を全国にアピールする。

- ・あきた音楽大使の高橋優さんが県内を紹介するガイドブックの発行 等

(2) ソーシャルメディアによる情報の交流 2,140千円

インスタグラムやツイッターなどのSNSを活用し、秋田の旬の話題や魅力を発信することで、県内への誘客や周遊を促す。

- ・県民参加によるインスタグラムフォトコンテストの開催 等

(3) 「秋田の眠れる魅力」発見・発信 1,451千円

メディアに向けて情報発信を行うことで、本県がテレビ番組等で取り上げられる機会の拡大を図る。

- ・県内の魅力的な素材を発信するウェブサイトの充実
- ・市町村職員等を対象としたロケ支援セミナーの開催 等

3 予算額 18,236千円

| | | |
|-----|--------------|----------|
| 内 訳 | ・ 報償費 | 251千円 |
| | ・ 旅 費 | 1,321千円 |
| | ・ 需用費 | 100千円 |
| | ・ 役務費 | 261千円 |
| | ・ 委託料 | 15,232千円 |
| | ・ 使用料及び賃借料 | 971千円 |
| | ・ 負担金補助及び交付金 | 100千円 |

観光施設魅力向上事業について

観光戦略課

1 目的

県有観光施設における利用者の安全・安心の確保と満足度の向上等を図るため、設備等の改修を行う。

2 概要

(単位：千円)

| 施設名 | 工事内容 | 予算額 |
|--------------|------------------------|--------|
| 男鹿水族館 | ・冷温水発生機等改修 | 55,620 |
| 田沢湖スキー場 | ・銀嶺クワッドリフト制動装置修繕 | 8,580 |
| | ・かもしかクワッドリフト山頂押送駆動輪等修繕 | 4,830 |
| | ・銀嶺第3リフト制動装置等修繕 | 11,000 |
| 秋田ふるさと村 | ・料理館屋根改修実施設計 | 1,817 |
| 十和田ホテル | ・ガス強制気化装置更新 | 3,948 |
| | ・自動ドアセンサー更新 | 1,643 |
| フォレストアウター | ・受変電設備変圧器等更新 | 33,151 |
| | ・電話設備改修 | 16,184 |
| | ・合併浄化槽改修 | 1,405 |
| サンルーフ大湯 | ・展望浴場機械設備改修 | 10,718 |
| 秋の宮山荘 | ・屋根改修 | 52,590 |
| 宮沢海岸オートキャンプ場 | ・炊事棟照明器具改修 | 1,875 |

3 予算額

203,361千円

| | |
|-----|---|
| 内 訳 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 需用費 29,333千円 ・ 委託料 7,565千円 ・ 工事請負費 166,463千円 |
|-----|---|

秋田の観光宣伝力強化事業について

観光振興課

1 目的

首都圏等からの更なる誘客を図るため、民間事業者や他県と連携しながら、テーマやターゲットを絞り込んだプロモーション等を展開する。

2 概要

(1) 新しい旅行スタイルを見据えた誘客プロモーション事業 12,460千円

ウィズコロナを意識した新しい旅行スタイルを見据え、誘客促進を図るため、新たな秋田の旅を提案するプロモーションを実施する。

- ・新しい観光コンテンツを掲載した総合パンフレットの作成
- ・首都圏主要駅でのデジタルサイネージ等を活用したプロモーションの実施 等

(2) 多様な民間事業者とタイアップした誘客推進事業 25,000千円

行政や観光関連団体、民間企業、経済団体等が一体となった東北デスティネーションキャンペーン期間中の誘客プロモーションや受入態勢の整備など、「秋田の観光創生推進会議」が実施する事業に要する経費の一部を負担する。

(3) 教育旅行誘致事業 3,952千円

教育旅行のニーズの変化に合わせ、新たにSDGs（持続可能な開発目標）をテーマとした旅行会社向けセールスシートを作成するほか、コロナ禍により全国的に目的地が見直されている状況に対応し、北海道に加え関東圏での学校訪問等によるPR活動を強化し、教育旅行の誘致を図る。

(4) 世界遺産を活用した誘客促進事業 2,974千円

令和3年の世界文化遺産登録を目指す縄文遺跡群を組み込んだ旅行商品の造成を促進するため、ファムツアーを実施するほか、世界自然遺産を有する1都1道3県が連携し、商談会やオンライン広告を実施する。

3 予算額 44,386千円

(1) 新しい旅行スタイルを見据えた誘客プロモーション事業 12,460千円

(地方創生推進交付金活用予定)
(委託料)

(2) 多様な民間事業者とタイアップした誘客推進事業 25,000千円

(負担金補助及び交付金)

(3) 教育旅行誘致事業

3, 952千円

| | | |
|-----|-----------|---------|
| 内 訳 | ・旅 費 | 436千円 |
| | ・需用費 | 115千円 |
| | ・役務費 | 8千円 |
| | ・委託料 | 3,383千円 |
| | ・使用料及び賃借料 | 10千円 |

(4) 世界遺産を活用した誘客促進事業

2, 974千円

| | | |
|-----|------|---------|
| 内 訳 | ・旅 費 | 634千円 |
| | ・需用費 | 30千円 |
| | ・役務費 | 60千円 |
| | ・委託料 | 2,250千円 |

東北デスティネーションキャンペーン推進事業について

観光振興課

1 目的

令和3年4月から9月に開催される「東北デスティネーションキャンペーン(以下「東北DC」という。)」において、東北6県が一体となってプロモーションを展開し、全国からの誘客を促進する。

2 概要

東北各県及び仙台市とともに、「東北DC推進協議会」が実施する事業に要する経費の一部を負担する。

【主な事業内容】

- ・春版、夏版ガイドブック・ポスターによるプロモーション
- ・WebやSNSを活用したデジタルプロモーション
- ・東北DCオープニングイベント(東京駅)
- ・デジタルクーポン・スタンプラリー(テーマ:桜、温泉、酒等)

【期間中の特別企画】

- ・マタギの星空山 北秋田の森吉山(北秋田市)
- ・世界遺産から清流を歩くりバートレッキングツアー(藤里町)
- ・日の入り灯台参観&朝露に濡れる雲昌寺あじさい参観(男鹿市)
- ・新・角館「夜桜タイムスリップ」(仙北市)
- ・横手特産ホップ畑を楽しむ「よこてビアツーリズム」(横手市) ほか23企画

〈東北DC推進協議会について〉

- ・設立:令和元年7月11日
- ・構成団体:東北6県、仙台市、JR東日本各支社、各県観光関係協議会等
- ・事業期間:令和元年度～令和3年度
- ・事務局:一般社団法人東北観光推進機構 (千円)

| 事業費: | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 合計 |
|-----------|--------|---------|---------|---------|
| (概算) 総事業費 | 15,050 | 409,150 | 275,800 | 700,000 |
| 各県・仙台市負担 | 2,150 | 58,450 | 39,400 | 100,000 |

3 予算額

40,386千円

| | | |
|----|-------------|----------|
| 内訳 | ・旅費等 | 887千円 |
| | ・需用費等 | 99千円 |
| | ・負担金補助及び交付金 | 39,400千円 |

ICT等を活用した受入態勢整備事業について【新規】

観光振興課

1 目的

デジタルツールを活用した情報収集の機会が拡大している中で、ICTを活用した受入態勢を整備し「選ばれる旅行先」を目指すとともに、利便性向上による周遊促進を図る。

2 概要

(1) Googleマップ等を活用した受入態勢整備事業 4,700千円

Googleマップへの観光スポット情報等の登録を促進するため、観光関係者向けセミナーを開催するほか、秋田県観光情報アプリ「アキタノNAVI」の登録情報を充実させ、旅行者の利便性向上を図る。

(2) 秋田犬ふれあい情報センター設置事業 7,473千円

秋田犬ステーション（秋田市・エリアなかいち）に県内各地の秋田犬展示情報を収集・発信する「秋田犬ふれあい情報センター」の機能を追加し、来訪者への情報提供の充実を図る。

3 予算額 12,173千円

(1) Googleマップ等を活用した受入態勢整備事業 4,700千円

(地方創生推進交付金活用予定)

| | | |
|-----|-----------|---------|
| 内 訳 | ・旅 費 | 15千円 |
| | ・需用費 | 80千円 |
| | ・役務費 | 80千円 |
| | ・委託料 | 4,509千円 |
| | ・使用料及び賃借料 | 16千円 |

(2) 秋田犬ふれあい情報センター設置事業 7,473千円

| | | |
|-----|------|---------|
| 内 訳 | ・役務費 | 100千円 |
| | ・委託料 | 7,373千円 |

インバウンド回復を見据えた情報発信事業について

観光振興課

1 目的

新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンド需要の回復を見据え、本県の認知度や本県への旅行意欲の維持・向上を図るため、市場特性や旅行スタイルの変化等を踏まえながら継続的な情報発信を行う。

2 主な対象市場

台湾、中国・香港、韓国、タイ

3 概要

(1) F I T等に対する情報発信事業 10,004千円

旅行スタイルの変化に伴い、F I T（個人旅行者）の増加が見込まれることから、各市場において主な旅行情報源となるSNS等を通じた情報発信を行う。

(2) 新しいニーズに対応した情報発信事業 870千円

S I T（特定のテーマを目的とした旅行者）の増加などの新たな旅行ニーズを踏まえ、海外で開催されるスキー旅行博覧会において、本県の特色あるスノーコンテンツ等の情報発信を行う。

(3) 現地コーディネーター設置事業 10,373千円

対象市場における本県の認知度向上を図るとともに、現地の旅行会社や航空会社等に対し機動的に対応するため、現地コーディネーターを通じて、情報発信や情報収集を行う。

4 予算額 21,247千円

(1) F I T等に対する情報発信事業 10,004千円

| | | |
|-----|--------|---------|
| 内 訳 | ・報酬 | 1,556千円 |
| | ・職員手当等 | 319千円 |
| | ・共済費 | 317千円 |
| | ・旅費 | 165千円 |
| | ・需用費 | 100千円 |
| | ・役務費 | 200千円 |
| | ・委託料 | 7,347千円 |

(2) 新しいニーズに対応した情報発信事業 870千円

| | | |
|-----|------|-------|
| 内 訳 | ・旅費 | 400千円 |
| | ・役務費 | 470千円 |

(3) 現地コーディネーター設置事業 10,373千円

| | | |
|-----|------|----------|
| 内 訳 | ・需用費 | 50千円 |
| | ・役務費 | 200千円 |
| | ・委託料 | 10,123千円 |

「世界へ羽ばたけ！秋田の食」輸出・誘客促進事業について

秋田うまいもの販売課

1 目 的

海外で物産展や商談会を開催するなど、食品事業者と連携しながら本県の食と観光を一体的に売り込むことにより県産品の輸出拡大を図る。

2 概 要

(1) 輸出促進と観光PR事業 in 台湾 7, 261千円

台湾の百貨店や小売店等で、本県の観光PRと合わせたフェア等を開催し、県産食品の販路拡大を図る。

- ・台湾現地コーディネーターによる販路開拓
- ・食品小売店等における健康や発酵食をテーマとしたフェアの開催
- ・現地での商談会等への出展

(2) 食の頂点パリ・ブランディング事業 2, 852千円

食の情報発信力の高いパリで、レストランやバイヤーに県産品の売り込みを図る。

- ・パリで営業する県内食品事業者の店舗等を活用した県産品のPR及び販路開拓 等

(3) 北東北三県・北海道ソウル事務所物産共同事業 1, 441千円

4道県で共同設置している同事務所において、共同プロモーションを実施する。

- ・輸入商品展示会への出展
- ・バイヤー招へいによる商談会の実施

(4) 秋田県産品輸出事業 in 中国 3, 201千円

本県と友好交流協定を締結した大連に加え、人口規模の大きな上海、深圳で、県産品PRイベント等を展開し、中国での輸出拡大を図る。

- ・大手食品輸入業者のECサイトを活用した県産品の販売拡大
- ・輸入商品展示会への出展
- ・バイヤー招へいによる商談会の実施

3 予算額 14, 755千円

(地方創生推進交付金活用予定)

(1) 輸出促進と観光PR事業 in 台湾 7, 261千円

| | | | |
|-----|---|-------|----------|
| 内 訳 | 〔 | ・旅 費 | 1, 000千円 |
| | | ・委託料 | 5, 800千円 |
| | | ・役務費等 | 461千円 |

| | | |
|---------------------------|--|----------|
| (2) 食の頂点パリ・ブランディング事業 | | 2, 852千円 |
| 内 訳 | <ul style="list-style-type: none"> ・旅 費 640千円 ・委託料 2, 100千円 ・役務費等 112千円 | |
| (3) 北東北三県・北海道ソウル事務所物産共同事業 | | 1, 441千円 |
| 内 訳 | <ul style="list-style-type: none"> ・旅 費 251千円 ・委託料 1, 080千円 ・役務費等 110千円 | |
| (4) 秋田県産品輸出事業 in 中国 | | 3, 201千円 |
| 内 訳 | <ul style="list-style-type: none"> ・旅 費 550千円 ・委託料 2, 520千円 ・役務費等 131千円 | |

発酵の国あきた魅力発信事業について

秋田うまいもの販売課

1 目的

本県が誇る優れた発酵食文化をコンテンツとして活用した観光誘客を促進するため、官民一体となって「あきた発酵ツーリズム」の取組を推進する。

2 概要

- (1) 発酵の郷づくり推進事業 39,391千円
- ① あきた発酵ツーリズム誘客戦略会議開催事業 134千円
旅行事業者など発酵ツーリズムに取り組む事業者等により、効果的な誘客促進策を協議する。
- ② 発酵の郷づくり推進事業補助金 4,257千円
発酵食文化の拠点施設等を中心として、地域をあげて発酵の郷づくりに取り組む団体等に対し、誘客のためのプロモーション等の活動を支援する。
・補助対象者：観光協会、NPO法人等の民間事業者等
・採択件数：地域での誘客活動等 1件
 全国規模の誘客イベント等 1件
・補助率：1/2
・補助上限額：地域 100万円、全国規模 300万円
- ③ 高質な受入環境整備促進事業 35,000千円
県内の民間事業者が実施する発酵ツーリズム拠点施設整備を支援する。
・補助対象者：県内発酵食品事業者
・採択件数：1件
・補助率：1/2
・補助上限額：3,500万円
- (2) 発酵の国あきた誘客促進事業 4,708千円
- ① 首都圏プロモーション事業 1,807千円
県内の酒蔵など発酵拠点施設と東京アンテナショップなどをオンラインで繋いだイベント等を実施し、本県の発酵食の魅力等を発信する。
- ② あきた発酵ツーリズムガイドブックの制作 2,901千円
本県の発酵食文化の情報を集約したガイドブックを制作・配布し、首都圏在住者等に情報発信を行う。

- (3) あきたの発酵食文化発信事業 3,563千円
- ① あきた発酵カレッジの開催 3,015千円
秋田の発酵食に関する知識を習得するための講座を開講し、発酵食文化の情報発信を担う人材を育成する。
- ② 発酵ツーリズムウェブサイトの情報追加・保守 548千円
ウェブサイト「本日あきた発酵中。」による発信力の強化を図る。

3 予算額 47,662千円
(地域経済循環創造事業交付金・地方創生推進交付金活用予定)

(1) 発酵の郷づくり推進事業 39,391千円

| | | |
|-----|-------------|----------|
| 内 訳 | ・報償費 | 90千円 |
| | ・旅 費 | 100千円 |
| | ・需用費等 | 201千円 |
| | ・負担金補助及び交付金 | 39,000千円 |

(2) 発酵の国あきた誘客促進事業 4,708千円

| | | |
|-----|-------|---------|
| 内 訳 | ・旅 費 | 232千円 |
| | ・需用費等 | 103千円 |
| | ・委託料 | 4,373千円 |

(3) あきたの発酵食文化発信事業 3,563千円

| | | |
|-----|-------|---------|
| 内 訳 | ・旅 費 | 71千円 |
| | ・需用費等 | 144千円 |
| | ・委託料 | 3,348千円 |

あきた食品産業活性化対策事業について

秋田うまいもの販売課

1 目的

県内食品事業者が行う新技術を活用した商品開発に必要な設備の導入や、中食(弁当・惣菜)・外食市場への販路開拓に向けた取組を支援し、県内の食品製造業の活性化を図る。

2 概要

(1) あきた食品産業活性化モデル育成事業 35,343千円

新技術の活用や新分野への進出により、規模拡大を目指す食品事業者に対し、必要となる設備の導入にかかる取組を支援する。

- ・採択件数：1件
- ・補助率：1/2
- ・補助上限額：3,500万円

(2) マーケットニーズ対応型商材販路開拓事業 6,102千円

県内の食品業界に精通したマッチング推進員を配置し、中食・外食市場への販路開拓にチャレンジする県内食品事業者と首都圏の中食・外食企業とのマッチング等を行う。

3 予算額 41,445千円

(地域経済循環創造事業交付金・地方創生推進交付金活用予定)

(1) あきた食品産業活性化モデル育成事業 35,343千円

| | | |
|----|-------------|----------|
| 内訳 | ・旅費等 | 343千円 |
| | ・負担金補助及び交付金 | 35,000千円 |

(2) マーケットニーズ対応型商材販路開拓事業 6,102千円

| | | |
|----|-------------------------------------|---------|
| 内訳 | ・人件費(報酬、職員手当等、共済費) (マッチング推進員活動費) | 2,489千円 |
| | ・旅費等 | 704千円 |
| | ・委託料 | 2,909千円 |

時代に対応する新たなコメ加工産業創造事業について【新規】

秋田うまいもの販売課

1 目的

米加工産業の更なる成長を図るため、県内事業者等と連携して、米の機能性に着目した商品や輸出向け商品、サキホコレを活用した商品などの開発を行うとともに、それら商品の販売拡大を推進する。

2 概要

(1) あきたコメ活プロジェクト推進協議会の開催 168千円

原料米の確保から商品開発・販路開拓を円滑に進めるため、米加工に関連する事業者で構成する協議会を運営するとともに、開発商品の販路開拓に向けて、バイヤー等を参集した商品発表会を開催する。

① 協議会の開催

(会員構成)

- ・食品加工、流通販売事業者
- ・関係団体（秋田県味噌醤油工業協同組合、秋田県酒造協同組合 等）
- ・各種機関（県立大学、金融機関、県 等）

② 開発商品発表会の開催

(2) 新たなニーズに対応した商品化実証事業 1,200千円

総合食品研究センターで開発された技術等の早期の実用化に向け、実証試験を実施する。

- ・想定される取組：「サキホコレ」を活用した和洋菓子及び日本酒の開発
次世代あめこうじの増殖 等

(3) 開発商品販路拡大支援事業 6,267千円

マーケットのニーズに即した商品開発を進めるため、食品ブランディングなどの専門家を招へいし、新商品評価・改良検討会を開催するとともに、首都圏等で開催される展示会等への出展や、量販店等でのフェア開催を通じ、開発商品の販路拡大を図る。

① 新商品開発を行う事業者への支援

- ・新商品評価・改良検討会の開催
- ・専門家によるリモート指導

② 首都圏等への販路拡大支援

- ・オンライン商談の実施
- ・首都圏で開催される展示会への出展
- ・県内外量販店等での販促活動

3 予算額

7, 635千円

(地方創生推進交付金活用予定)

(1) あきたコメ活プロジェクト推進協議会の開催

168千円

| | | |
|-----|------------|------|
| 内 訳 | ・ 需用費 | 60千円 |
| | ・ 役務費 | 28千円 |
| | ・ 使用料及び賃借料 | 80千円 |

(2) 新たなニーズに対応した商品化実証事業

1, 200千円

(委託料)

(3) 開発商品販路拡大支援事業

6, 267千円

| | | |
|-----|------------|----------|
| 内 訳 | ・ 報償費 | 1, 800千円 |
| | ・ 旅 費 | 845千円 |
| | ・ 需用費 | 102千円 |
| | ・ 役務費 | 205千円 |
| | ・ 委託料 | 2, 335千円 |
| | ・ 使用料及び賃借料 | 980千円 |

アフターコロナを見据えた交通ネットワーク強化事業について【新規】

交通政策課

1 目的

交流の持続的拡大を支える広域交通ネットワークの維持・拡充に向けて、アフターコロナを見据えた航空路線やフェリーの利用促進策を展開し、新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻な影響を受けている航空路線等の利用回復と更なる充実を図る。

2 概要

(1) 旅行商品造成支援 9,000千円

個人向けや三密の回避など、旅行スタイルの変化に対応した商品の造成に対し助成する。

① 大館能代空港 8,000千円

・助成額：5万円／商品

オプションの設定に応じて最大100万円まで助成

・要件等：団体向け商品に加え、個人向けの商品も対象

レンタカー利用やバスの借上の台数等に応じて助成額を上乗せ

・助成件数：15件程度

② フェリー秋田航路 1,000千円

・助成額：10万円／商品

オプションの設定に応じて最大20万円まで助成

・要件等：団体向け商品に加え、個人向けの商品も対象

マイカーまたはフェリーの個室利用を要件とし、県内に宿泊する場合は助成額を上乗せ

・助成件数：5件程度

(2) 航空会社等と連携した誘客促進 8,500千円

航空需要の回復と拡大に向け、運航を担う航空会社等とともに、需要が低迷する時期や新たな需要が見込まれる地域等を対象とした利用促進キャンペーンを実施する。

・秋田空港の定期便利用者に対する割引クーポンの発行 2,500千円

・大館能代空港の3便目利用や冬期催行の旅行商品の造成 6,000千円

(3) 誘客プロモーション等 3,000千円

Webによる観光情報発信や西日本におけるイベントへの出展を通じて秋田の魅力を発信し、乗継利用の拡大につなげる。

3 予算額 20,500千円

(地方創生推進交付金活用予定)

| | | |
|-----|-------------|----------|
| 内 訳 | ・旅費 | 800千円 |
| | ・負担金補助及び交付金 | 19,700千円 |

地域公共交通の維持・確保対策関連予算について

交通政策課

1 目的

住民生活や地域社会の維持に必要なバス路線等の運行を支援するとともに、全県を対象エリアとする「秋田県地域公共交通計画」を策定することにより、人口減少社会においても持続可能な地域公共交通ネットワークの形成を図る。

2 概要

(1) 地方バス路線維持事業 88,379千円

広域的・幹線的なバス路線を維持するため、バス事業者に対し、運行経費の一部を国と協調して補助する。

- ・補助対象：運行経費（20系統）、車両減価償却費（3両）
- ・補助率：国1/2（事業者への直接補助）、県1/2

(2) 生活バス路線等維持事業 195,269千円

地域内の生活交通を確保するため、市町村に対し、運行経費の一部を補助する。

① 生活バス路線維持費等補助 70,715千円

- ・補助対象：市町村が助成する生活バス路線（65系統）
- ・補助率：県1/2、3/8、1/8（乗車密度※により3段階に区分）

※ 起点から終点まで平均して乗客が何人いるかを算出した数値

② マイタウン・バス運行費等補助 55,533千円

- ・補助対象：市町村が運営するコミュニティバスや乗合タクシー等（122系統）
- ・補助率：県1/2、1/4（乗車密度により2段階に区分）

③ 地域内フィーダー系統確保維持費補助 69,021千円

- ・補助対象：市町村が運営するコミュニティバス等で国の地域内フィーダー系統補助金の対象となっているもの（102系統）
- ・補助条件・額：運行経費の欠損額の1/2より国庫補助上限額が下回った場合にその差額を補助

(3) 秋田県地域公共交通計画策定事業【新規】 11,104千円

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部改正（令和2年11月施行）に伴い、県全体の地域公共交通に関する取組の方向性等を示す「秋田県地域公共交通計画」を交通事業者や市町村などと連携し策定する。

- ・計画概要(案)：
 - i 人口・公共的施設の立地・交通などに係る現況分析
 - ii 公共交通利用に関する県民の意向・動向
 - iii 改善の方向性と基本的な方針・目標
 - iv 事業計画（事業者、市町村、県）
 - v スケジュール、事業評価

3 予算額 294,752千円

(1) 地方バス路線維持事業 88,379千円
(負担金補助及び交付金)

(2) 生活バス路線等維持事業 195,269千円
(負担金補助及び交付金)

(3) 秋田県地域公共交通計画策定事業 11,104千円
(負担金補助及び交付金)

【参考】バス補助制度の概念図

| 運営主体 | バス事業者 | | 市町村 | バス事業者・市町村 |
|-------------------------|----------------------------|-------------|------------------------|---------------|
| 運行形態 | 乗合バス | | コミュニティバス、乗合タクシー、自家用有償等 | |
| 補助制度 | 地方バス (=地域間幹線系統) | 生活バス | マイタウン・バス | 地域内ファイダー系統 |
| 乗車密度 | | | | |
| 5人以上 | 国1/2 県1/2 (全額補填) | 県1/2 市町村1/2 | | |
| 3人以上5人未満 | 国1/2 県1/2 (乗車密度に応じてカット) | 県3/8 市町村3/8 | 県1/2 市町村1/2 | |
| 1人以上3人未満 (市町村をまたぐ系統) | | 県1/8 市町村5/8 | | 国&県1/2 市町村1/2 |
| 1人以上3人未満 (市町村内完結系統) | | | | |
| 1人未満 | | | 市町村が独自に支援する場合あり | |

秋田内陸縦貫鉄道関連予算について

交通政策課

1 目的

秋田内陸線の安全運行と安定的な運営を支援するため、設備整備等に対して補助するとともに、利用促進に向けた取組を行う。

2 概要

(1) 鉄道軌道輸送対策事業 383,297千円

鉄道の安全対策に係る設備整備等に対して補助する。

・設備投資：レール交換、法面固定、トンネル改修等（国1/4※、県3/4）

※会社へ直接補助

・維持修繕：道床補充、車両修繕、橋梁健全度調査等（県1/2、基金1/2）

(2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 141千円

鉄道の維持確保及び経営基盤の安定化を図るため設置している基金に、基金運用益（受取利息）を積み立てる。

(3) 地方鉄道運営費補助事業 50,000千円

会社運営に必要な費用の一部を補助する。

・補助額：＜県＞5,000万円

＜北秋田市、仙北市、上小阿仁村＞計1億5,000万円

(4) 第三セクター鉄道利用促進事業 3,485千円

① 三セク鉄道利用促進事業 2,085千円

沿線市や会社、商工団体等で構成する「秋田内陸地域公共交通連携協議会」へ負担金を支出し、沿線でのイベント開催や学校行事への利用促進などを支援する。

② 「秋田内陸線の旅」制作事業 1,400千円

沿線市や大館市、弘前市等で構成する「秋田内陸線・奥羽北線沿線連絡協議会」へ負担金を支出し、首都圏における観光情報の発信などを支援する。

3 予算額 436,923千円

(1) 鉄道軌道輸送対策事業 383,297千円 (負担金補助及び交付金)

(2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 141千円 (積立金)

(3) 地方鉄道運営費補助事業 50,000千円 (負担金補助及び交付金)

(4) 第三セクター鉄道利用促進事業 3,485千円

内訳

| | |
|-------------|---------|
| ・旅費 | 170千円 |
| ・負担金補助及び交付金 | 3,315千円 |

【参考】

秋田内陸縦貫鉄道の経営状況について

1 令和2年4月～令和2年11月までの輸送状況

(1) 輸送人員の状況（4月～11月）

(単位：人)

| 区 分 | 元年度 | 2年度 | 増減 | 備考 |
|-------|---------|---------|----------|-----------|
| 定 期 | 79,218 | 71,965 | △ 7,253 | 前年比 90.8% |
| 定 期 外 | 112,768 | 57,437 | △ 55,331 | 〃 50.9% |
| 合 計 | 191,986 | 129,402 | △ 62,584 | 〃 67.4% |

(2) 鉄道収入の状況（4月～11月）

(単位：千円)

| 区 分 | 元年度 | 2年度 | 増減 | 備考 |
|--------|--------|--------|----------|-----------|
| 定 期 | 19,970 | 17,783 | △ 2,187 | 前年比 89.0% |
| 定 期 外※ | 77,244 | 42,055 | △ 35,189 | 〃 54.4% |
| 合 計 | 97,214 | 59,838 | △ 37,376 | 〃 61.6% |

※ 運輸雑収入を含む。

2 令和2年度決算見込み

新型コロナウイルス感染症の影響による鉄道収入等の減少等により、経常損失額は前年度を上回る見込み。

(単位：千円)

| 区 分 | 元年度 | 2年度 | 増減 | 主な要因 | |
|-----------|-------------|-----------|----------|----------|-------------|
| 収 入 | 鉄 道 収 入 | 130,817 | 72,859 | △ 57,958 | |
| | 定 期 | 24,846 | 22,224 | △ 2,622 | |
| | 定 期 外 ※ | 105,971 | 50,635 | △ 55,336 | 観光利用の減 |
| | 関 連 事 業 収 入 | 51,084 | 31,512 | △ 19,572 | こぐま亭、車内販売の減 |
| | 受 託 事 業 収 入 | 11,157 | 12,890 | 1,733 | |
| | 営 業 外 収 入 | 140,073 | 195,282 | 55,209 | 国・県などの助成金等 |
| | 収 入 合 計 ① | 333,131 | 312,543 | △ 20,588 | |
| 費 用 | 人 件 費 | 203,541 | 208,301 | 4,760 | |
| | 除 雪 費 | 8,649 | 20,000 | 11,351 | R1年度暖冬の反動 |
| | 修 繕 費 | 160,740 | 176,545 | 15,805 | 補助対象修繕の増 |
| | 動 力 費 | 30,743 | 23,282 | △ 7,461 | |
| | 関 連 事 業 原 価 | 31,114 | 18,457 | △ 12,657 | 材料仕入れ等の減 |
| | 受 託 事 業 費 | 9,727 | 12,000 | 2,273 | |
| | そ の 他 経 費 等 | 76,841 | 73,842 | △ 2,999 | |
| 費 用 合 計 ② | 521,355 | 532,427 | 11,072 | | |
| 経常損益 ①－② | △ 188,224 | △ 219,884 | △ 31,660 | | |

※ 運輸雑収入を含む。

由利高原鉄道関連予算について

交通政策課

1 目的

鳥海山ろく線の安全運行と安定的な運営を支援するため、設備整備等に対して補助するとともに、利用促進に向けた取組を行う。

2 概要

(1) 鉄道軌道輸送対策事業 75,810千円

鉄道の安全対策に係る設備整備等に対して補助する。

- ・設備投資：ホーム改修、ポイント融雪装置更新等（国1／4※、県3／4）

※会社への直接補助

- ・維持修繕：車両検査、踏切敷板交換、道床補充（県1／2、基金1／2）

(2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 50千円

鉄道の維持確保及び経営基盤の安定化を図るため設置している基金に、基金運用益（受取利息）を積み立てる。

(3) 地方鉄道運営費補助事業 18,000千円

会社運営に必要な費用の一部を補助する。

- ・補助額：＜県＞1,800万円

＜由利本荘市＞令和2年度経常損失額－県補助額

(4) 第三セクター鉄道利用促進事業 750千円

由利本荘市や会社、商工団体等で構成する「鳥海山ろく線運営促進連絡協議会」へ負担金を支出し、旅行会社への営業活動や県外PRイベントへの出展などを支援する。

3 予算額 94,610千円

(1) 鉄道軌道輸送対策事業 75,810千円

(負担金補助及び交付金)

(2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 50千円

(積立金)

(3) 地方鉄道運営費補助事業 18,000千円

(負担金補助及び交付金)

(4) 第三セクター鉄道利用促進事業 750千円

(負担金補助及び交付金)

【参考】

由利高原鉄道の鉄道事業の経営状況について

1 令和2年4月～令和2年11月までの輸送状況

(1) 輸送人員の状況（4月～11月）

(単位：人)

| 区 分 | 元年度 | 2年度 | 増減 | 備考 |
|-------|---------|--------|----------|-----------|
| 定 期 | 71,550 | 62,338 | △ 9,212 | 前年比 87.1% |
| 定 期 外 | 44,955 | 30,864 | △ 14,091 | 〃 68.7% |
| 合 計 | 116,505 | 93,202 | △ 23,303 | 〃 80.0% |

(2) 鉄道収入の状況（4月～11月）

(単位：千円)

| 区 分 | 元年度 | 2年度 | 増減 | 備考 |
|--------|--------|--------|---------|-----------|
| 定 期 | 13,655 | 11,133 | △ 2,522 | 前年比 81.5% |
| 定 期 外※ | 18,695 | 14,332 | △ 4,363 | 〃 76.7% |
| 合 計 | 32,350 | 25,465 | △ 6,885 | 〃 78.7% |

※運輸雑収入を含む。

2 令和2年度決算見込み

新型コロナウイルス感染症の影響による鉄道収入等の減少等により、経常損失額は前年度を上回る見込み。

(単位：千円)

| 区 分 | | 元年度 | 2年度 | 増減 | 主な要因 |
|----------|-------------|----------|----------|---------|------------|
| 収 入 | 鉄 道 収 入 | 40,287 | 32,221 | △ 8,066 | |
| | 定 期 | 15,716 | 12,894 | △ 2,822 | |
| | 定 期 外 ※ | 24,571 | 19,327 | △ 5,244 | 観光利用の減 |
| | 関 連 事 業 収 入 | 14,634 | 7,894 | △ 6,740 | 企画旅行収入の減 |
| | 営 業 外 収 入 | 5,949 | 12,813 | 6,864 | 国・県などの助成金等 |
| | 収 入 合 計 ① | 60,870 | 52,928 | △ 7,942 | |
| 費 用 | 人 件 費 | 97,496 | 94,965 | △ 2,531 | |
| | 除 雪 費 | 266 | 1,600 | 1,334 | |
| | 修 繕 費 | 4,194 | 10,242 | 6,048 | 車両等修繕の増 |
| | 動 力 費 | 9,334 | 6,900 | △ 2,434 | |
| | 関 連 事 業 原 価 | 10,628 | 5,197 | △ 5,431 | 企画旅行仕入れの減 |
| | そ の 他 経 費 等 | 37,087 | 34,011 | △ 3,076 | |
| | 費 用 合 計 ② | 159,005 | 152,915 | △ 6,090 | |
| 経常損益 ①－② | | △ 98,135 | △ 99,987 | △ 1,852 | |

※運輸雑収入を含む。

「東京オリ・パラ」あきたの文化発信事業について

文化振興課

1 目的

東京オリンピック・パラリンピックを好機として、多彩な文化事業の実施を通じて秋田ならではの文化を国内外に発信することにより、交流人口の拡大につなげる。

2 概要

(1) 舞踊・舞踏フェスティバル開催事業 18,500千円

「ダンスの聖地秋田」を国内外に広く発信するため、石井漠、土方巽の流れを汲む舞踊・舞踏家を各地から招へいし、コンクール等を開催する。

- ・実施時期：令和3年10月
- ・実施場所：秋田市
- ・実施主体：『踊る。秋田』実行委員会
- ・総事業費：27,000千円
- ・負担内訳：県5,000千円、国13,500千円、秋田市2,000千円、協賛金等6,500千円

(2) 文化プログラム推進事業費補助金 10,000千円

特色ある文化事業を継続的に展開し、交流人口の拡大に資する取組に対し、開催経費を助成する。

- ・補助対象者：文化団体等
- ・補助率：2/3
- ・補助上限額：500万円

(3) 文化による地域の元気創出事業費補助金 19,142千円

県内芸術文化活動の活発化や地域の活性化等を図るため、県内の多彩な文化団体等が行う交流人口の拡大に資する取組や、芸術性に富んだ特色ある取組に対し、開催経費を助成する。

- ・補助対象者：文化団体等
- ・補助率：1/2、2/3
- ・補助上限額：40万円、300万円

(4) 秋田の伝統芸能魅力発信事業 23, 142千円

県内の多彩な伝統芸能を披露するイベントを開催するほか、県外で開催される東京オリンピック・パラリンピック関連イベントにおいて本県の伝統芸能の魅力をPRする。

・実施内容：「あきた2021伝統芸能フェスティバル」（令和3年10月、男鹿市）の開催

「東京2020NIPPONフェスティバル（東北復興プログラム）」（令和3年5月、東北地方の被災県で開催予定）及び「東京キャラバン」（令和3年8月、東京都で開催予定）への伝統芸能団体の派遣

・実施主体：県、男鹿市等で構成する実行委員会

・総事業費：25, 842千円

・負担内訳：県13, 142千円、国10, 000千円、男鹿市1, 700千円、協賛金等1, 000千円

3 予算額 70, 784千円

(1) 舞踊・舞踏フェスティバル開催事業 18, 500千円

(負担金補助及び交付金)

(2) 文化プログラム推進事業費補助金 10, 000千円

(負担金補助及び交付金)

(3) 文化による地域の元気創出事業費補助金 19, 142千円

| | | |
|-----|--------------|-----------|
| 内 訳 | ・ 報償費 | 35千円 |
| | ・ 旅 費 | 57千円 |
| | ・ 需用費 | 50千円 |
| | ・ 負担金補助及び交付金 | 19, 000千円 |

(4) 秋田の伝統芸能魅力発信事業 23, 142千円

(負担金補助及び交付金)

あきた芸術劇場整備事業について

文化振興課

1 目的

令和4年の開館に向けて、引き続き建設工事等を進めるほか、備品の発注を行う。

2 概要

(1) 継続費設定分 8,864,929千円

平成30年9月補正予算で設定した継続費（総額 21,128,403千円、設定期間 平成30年度～令和3年度）のうち、令和3年度実施分。

- ・建設工事費 8,729,371千円
- ・工事・設計監理費 108,054千円
- ・ホール等施工支援業務費 2,928千円
- ・完了検査申請手数料等 855千円
- ・埋蔵文化財調査費 23,721千円

(2) 単年度計上分

整備事務費 3,949千円

(3) 債務負担行為設定分

〔 446,079千円 〕
設定期間 令和4年度

各ホールで使用する舞台用備品及び什器類等の一般備品について、令和3年度中に秋田市と分担して発注を行う。

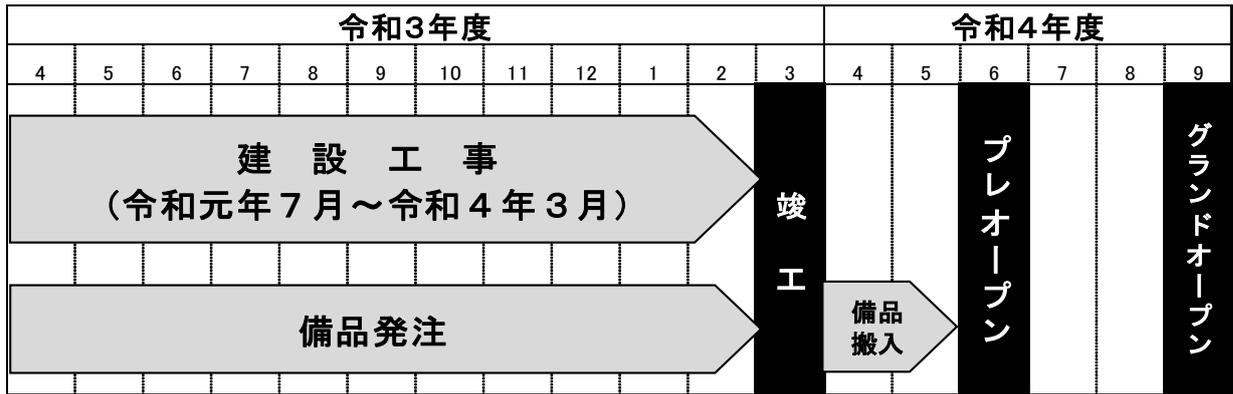
- ・備品購入費総額 544,413千円

| 執行区分 | 金額 | うち県負担 | うち秋田市負担 |
|----------------------|----------------------|----------------------|-----------|
| 県執行分 (総額の57.5%) | <u>(a) 313,038千円</u> | 179,997千円 | 133,041千円 |
| 秋田市執行分 (総額の42.5%) | 231,375千円 | <u>(b) 133,041千円</u> | 98,334千円 |

※債務負担行為限度額 = (a) 313,038千円 + (b) 133,041千円

- ・納入期間 令和4年4月～5月（予定）

3 スケジュール



4 予算額

(1) 継続費設定分 8,864,929千円

| | | | |
|-----|---|--|---|
| 内 訳 | { | <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 7,605千円 ・職員手当等 1,641千円 ・共済費 1,720千円 ・報償費 80千円 ・旅費 1,298千円 ・需用費 1,940千円 ・役務費 1,696千円 ・委託料 117,334千円 ・使用料及び賃借料 2,244千円 ・工事請負費 8,729,371千円 | } |
|-----|---|--|---|

(2) 単年度計上分 3,949千円

| | | | |
|-------|---|---|---|
| 整備事務費 | | | |
| 内 訳 | { | <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 1,677千円 ・需用費 1,940千円 ・役務費 306千円 ・使用料及び賃借料 26千円 | } |

(3) 債務負担行為設定分 446,079千円

| | | | |
|-----|---|---|---|
| 内 訳 | { | <ul style="list-style-type: none"> ・備品購入費 313,038千円 ・負担金補助及び交付金 133,041千円 | } |
|-----|---|---|---|

あきた芸術劇場開館準備事業について

文化振興課

1 目的

令和4年の開館に向けた機運醸成を図るため、PRイベント等を実施するとともに、施設予約システムの導入やプロモーター等への誘致活動など開館準備を行う。

2 概要

(1) 開館に向けた機運醸成事業 14,670千円

新たな施設を県内外に広く周知するため、PRイベントなど県民・市民参加事業を実施する。

- ・あきた芸術劇場開館記念PRE-EVENT2021（カウントダウンスタートイベント、写真展、工事現場見学会等）の実施
- ・あきた芸術劇場開館記念県民・市民参加型ミュージカルの制作
- ・県内若者を対象とした演劇ワークショップや公共ホール職員等の企画制作力向上研修の実施

(2) 開館準備等事業 69,282千円

円滑な開館・施設運営に向けた準備を指定管理者と連携して進めるほか、より県民に親しまれる施設になるようシンボルマークを作成する。

- ・指定管理者による開館準備業務（施設予約システムの導入、自主事業の企画、施設のPR活動等）
- ・劇場コンサルタントによる支援業務
- ・シンボルマークの作成

(3) 県民会館閉館中助成事業 500千円

県内文化団体等が、これまで県民会館大ホールで開催してきた芸術文化イベントを秋田市以外の文化施設で開催する場合に、掛かり増しとなる経費を対象に助成する。

- ・対象経費：大会審査員の宿泊費や交通費、会場周知費用等
- ・補助率：10/10
- ・補助上限額：10万円

| | | |
|------------------|----------|--------------|
| 3 予算額 | | 84,452千円 |
| (1) 開館に向けた機運醸成事業 | | 14,670千円 |
| 内 訳 | | |
| ・旅 費 | 47千円 | |
| ・需用費 | 210千円 | |
| ・役務費 | 96千円 | |
| ・委託料 | 14,185千円 | |
| ・使用料及び賃借料 | 132千円 | |
| (2) 開館準備等事業 | | 69,282千円 |
| | | (委託料) |
| (3) 県民会館閉館中助成事業 | | 500千円 |
| | | (負担金補助及び交付金) |

スポーツ王国創成事業について

スポーツ振興課

1 目的

「スポーツ立県あきた」の実現に向け、優れた素質を有するジュニア層の発掘に努め、一貫した強化を図るとともに、各競技団体が行う選手強化の取組を支援するほか、トップアスリートの県内就職を促進することなどにより、本県スポーツの競技力向上を図る。

2 概要

- (1) **スポーツ王国づくり強化事業** 210,516千円
- ① **選手強化対策等への支援** 101,240千円
競技団体が実施する選手強化対策事業に対して、国体得点獲得に重点を置いて補助する。
・補助先：国体競技41団体（種目別延べ45団体）
- ② **スポーツ医科学サポート** 16,012千円
選手に対する医科学サポートを県スポーツ科学センターにおいて実施する。
- ③ **競技力向上対策の実施** 92,455千円
選手の育成・強化のための諸施策や競技団体への指導など、県体育協会と連携した競技力向上対策等を実施する。
- ④ **強化策検討部会の開催** 809千円
外部有識者の意見を聞きながら、競技力向上対策の効果を検証するとともに、今後の取組について検討を行う。
- (2) **アスリート輩出のためのタレント発掘事業** 8,233千円
- ① **AKITAスーパーわか杉っ子発掘プロジェクト** 6,292千円
ジュニア期から優れた素質を有する選手の発掘・育成・強化を実施する。
・対象競技：フェンシング、スピードスケート、ライフル射撃
- ② **秋田県タレント発掘合同トライアル** 1,941千円
小・中学生を対象に、自分の競技特性を知るための運動能力測定会を実施するとともに、様々なスポーツに興味を持ってもらうための体験会を開催する。
- (3) **チームAKITA強化事業【新規】** 52,060千円
- ① **チームAKITAジュニアアスリートの強化【新規】** 40,460千円
これまでの高等学校強化拠点校制度を見直し、県高校選抜選手に対する定期練習会の開催等により、個々のレベルに応じた強化を通じてジュニア層全体のレベルアップに取り組む競技団体や、上級資格の取得を目指す指導者を支援するなど、競技団体主導の新たな強化策に取り組む。
- ② **中学生強化選手の指定・育成** 10,434千円
将来、国体やインターハイ等で上位入賞が期待できる有望な中学生を強化選手に指定し、ジュニア育成アドバイザーによる競技力向上研修等を実施する。
・委託先：(公財)秋田県体育協会
- ③ **秋田型走力アッププログラムの作成・実践【新規】** 1,166千円
全国平均に比べて劣っている小学生の走力の向上を図るとともに、競技力の基礎となる運動能力を高めるためのプログラムを作成し、モデル校で実践する。
- (4) **アスリートの競技活動サポート事業** 39,974千円
- ① **アスリートと企業等のマッチングサポート** 5,774千円
県内に就職し競技を続ける意思のあるアスリートと、企業等とのマッチングサポートを実施する。

・実施内容：無料職業紹介事業所及び就職推進アドバイザーの設置（1名）
アスリート就職説明会の開催など

・委託先：(公財)秋田県体育協会

② 秋田県トップアスリート正規雇用奨励金 3,000千円

トップアスリートを雇用した企業等に対して、奨励金を支給する。

・支給額：100万円×3人

③ 秋田県トップアスリート競技活動サポート補助金 31,200千円

企業等が負担するトップアスリートの競技活動経費を補助する。

・補助上限：年240万円

・対象者：16人

(5) スポーツ国際交流員招致事業 7,960千円

(語学指導等を行う外国青年招致事業「JETプログラム」対象事業)

スポーツ国際交流員(SEA)を招致し、専門的な競技指導を行うとともに、スポーツを通じた国際交流を図る。

3 予算額 318,743千円

(1) スポーツ王国づくり強化事業 210,516千円

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|--------------------|---------|------|---------|-----|---------|------|-------|------|---------|------|----------|-----------|-------|-------------|-----------|
| 内 訳 | (<table border="0"> <tr><td>・人件費(報酬、職員手当等、共済費)</td><td>6,324千円</td></tr> <tr><td>・報償費</td><td>3,600千円</td></tr> <tr><td>・旅費</td><td>4,330千円</td></tr> <tr><td>・需用費</td><td>351千円</td></tr> <tr><td>・役務費</td><td>1,553千円</td></tr> <tr><td>・委託料</td><td>88,955千円</td></tr> <tr><td>・使用料及び賃借料</td><td>651千円</td></tr> <tr><td>・負担金補助及び交付金</td><td>104,752千円</td></tr> </table>) | ・人件費(報酬、職員手当等、共済費) | 6,324千円 | ・報償費 | 3,600千円 | ・旅費 | 4,330千円 | ・需用費 | 351千円 | ・役務費 | 1,553千円 | ・委託料 | 88,955千円 | ・使用料及び賃借料 | 651千円 | ・負担金補助及び交付金 | 104,752千円 |
| ・人件費(報酬、職員手当等、共済費) | | 6,324千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・報償費 | | 3,600千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・旅費 | | 4,330千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・需用費 | | 351千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・役務費 | | 1,553千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・委託料 | | 88,955千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・使用料及び賃借料 | | 651千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・負担金補助及び交付金 | 104,752千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |

(2) アスリート輩出のためのタレント発掘事業 8,233千円

| | | | | | | | | | | | |
|------|---|---------|-------|-----|---------|------|-------|------|-------|------|---------|
| 内 訳 | (<table border="0"> <tr><td>・報償費</td><td>320千円</td></tr> <tr><td>・旅費</td><td>4,915千円</td></tr> <tr><td>・需用費</td><td>230千円</td></tr> <tr><td>・役務費</td><td>327千円</td></tr> <tr><td>・委託料</td><td>2,441千円</td></tr> </table>) | ・報償費 | 320千円 | ・旅費 | 4,915千円 | ・需用費 | 230千円 | ・役務費 | 327千円 | ・委託料 | 2,441千円 |
| ・報償費 | | 320千円 | | | | | | | | | |
| ・旅費 | | 4,915千円 | | | | | | | | | |
| ・需用費 | | 230千円 | | | | | | | | | |
| ・役務費 | | 327千円 | | | | | | | | | |
| ・委託料 | 2,441千円 | | | | | | | | | | |

(3) チームAKITA強化事業【新規】 52,060千円

| | | | | | | | | | |
|-------------|--|----------|------|-----|-------|------|----------|-------------|----------|
| 内 訳 | (<table border="0"> <tr><td>・報償費</td><td>84千円</td></tr> <tr><td>・旅費</td><td>102千円</td></tr> <tr><td>・委託料</td><td>11,414千円</td></tr> <tr><td>・負担金補助及び交付金</td><td>40,460千円</td></tr> </table>) | ・報償費 | 84千円 | ・旅費 | 102千円 | ・委託料 | 11,414千円 | ・負担金補助及び交付金 | 40,460千円 |
| ・報償費 | | 84千円 | | | | | | | |
| ・旅費 | | 102千円 | | | | | | | |
| ・委託料 | | 11,414千円 | | | | | | | |
| ・負担金補助及び交付金 | 40,460千円 | | | | | | | | |

(4) アスリートの競技活動サポート事業 39,974千円

| | | | | | | | |
|-------------|--|---------|---------|------|---------|-------------|----------|
| 内 訳 | (<table border="0"> <tr><td>・報償費</td><td>3,000千円</td></tr> <tr><td>・委託料</td><td>5,774千円</td></tr> <tr><td>・負担金補助及び交付金</td><td>31,200千円</td></tr> </table>) | ・報償費 | 3,000千円 | ・委託料 | 5,774千円 | ・負担金補助及び交付金 | 31,200千円 |
| ・報償費 | | 3,000千円 | | | | | |
| ・委託料 | | 5,774千円 | | | | | |
| ・負担金補助及び交付金 | 31,200千円 | | | | | | |

(5) スポーツ国際交流員招致事業 7,960千円

| | | | | | | | | | |
|--------------------|--|--------------------|---------|-----|-------|------|------|-------------|-------|
| 内 訳 | (<table border="0"> <tr><td>・人件費(報酬、職員手当等、共済費)</td><td>6,827千円</td></tr> <tr><td>・旅費</td><td>974千円</td></tr> <tr><td>・役務費</td><td>15千円</td></tr> <tr><td>・負担金補助及び交付金</td><td>144千円</td></tr> </table>) | ・人件費(報酬、職員手当等、共済費) | 6,827千円 | ・旅費 | 974千円 | ・役務費 | 15千円 | ・負担金補助及び交付金 | 144千円 |
| ・人件費(報酬、職員手当等、共済費) | | 6,827千円 | | | | | | | |
| ・旅費 | | 974千円 | | | | | | | |
| ・役務費 | | 15千円 | | | | | | | |
| ・負担金補助及び交付金 | 144千円 | | | | | | | | |

県有体育施設整備・改修事業について

スポーツ振興課

1 目的

県有体育施設について、利用者の安全・安心を確保するとともに、各種競技大会の開催に支障がないよう施設設備の整備・改修を実施する。

2 概要

(1) スポーツ振興くじ助成金活用事業 119,002千円

ジャンプ競技の環境の向上と円滑な運営を図るため、花輪スキー場のジャンプ台に隣接する管理棟を改修し、選手控え室を整備する。

(2) 県有体育施設大規模改修事業 164,869千円

経年劣化により不具合が生じている、県立総合プールの中央監視装置やろ過設備、循環水の昇温装置等を改修する。

3 予算額 283,871千円

(1) スポーツ振興くじ助成金活用事業 119,002千円

| | | |
|-----|---------|-----------|
| 内 訳 | ・ 役務費 | 17千円 |
| | ・ 委託料 | 759千円 |
| | ・ 工事請負費 | 118,226千円 |

(2) 県有体育施設大規模改修事業 164,869千円

| | | |
|-----|---------|-----------|
| 内 訳 | ・ 需用費 | 61,231千円 |
| | ・ 委託料 | 634千円 |
| | ・ 工事請負費 | 103,004千円 |

2020プロジェクト推進事業について

スポーツ振興課

1 目的

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた事前合宿の受入をはじめとする海外とのスポーツ交流を推進するとともに、県内で行われるトップスポーツ大会の開催を支援することにより、交流人口の拡大と競技力向上につなげる。

2 概要

- | | |
|--|-----------|
| (1) 2020プロジェクト事業 | 151,329千円 |
| ① 事前合宿・スポーツ交流等推進費 | 37,562千円 |
| 市町村と連携し、オリンピック・パラリンピックの事前合宿受入やスポーツ交流事業を実施する。 | |
| ② 事前合宿等新型コロナウイルス感染症対策費 | 113,767千円 |
| 事前合宿や大会後のスポーツ交流で来県する選手団と受入関係者のPCR検査等を実施するとともに、受入市町村が行う選手団の移動・宿泊に係る隔離対策を支援する。 | |
| (2) オリンピック・ムーブメント啓発事業 | 4,368千円 |
| ① オリンピック教室開催費 | 1,368千円 |
| JOCパートナー協定に基づき、県内の中学校にオリンピックを派遣し、2年生を対象にオリンピック教室を開催する。 | |
| ② トップスポーツ大会開催支援事業補助金 | 3,000千円 |
| 交流人口の拡大や競技力向上に資する国内トップレベルの選手が参加するスポーツ大会の開催を支援する。 | |

3 予算額

- | | |
|-----------------------|-----------|
| (1) 2020プロジェクト事業 | 151,329千円 |
| 内 訳 | |
| ・報酬 | 1,114千円 |
| ・旅費 | 1,493千円 |
| ・需用費 | 3,130千円 |
| ・役務費 | 286千円 |
| ・委託料 | 45,984千円 |
| ・使用料及び賃借料 | 11,081千円 |
| ・負担金補助及び交付金 | 88,241千円 |
| (2) オリンピック・ムーブメント啓発事業 | 4,368千円 |
| 内 訳 | |
| ・報償費 | 700千円 |
| ・旅費 | 668千円 |
| ・負担金補助及び交付金 | 3,000千円 |

【参考】

海外チーム事前合宿・スポーツ交流予定一覧

| | 相手国 | 競 技 | 実施予定事業 |
|------|--------|---------------------------|-------------|
| 美郷町 | タイ | バドミントン | 事前合宿、スポーツ交流 |
| 横手市 | インドネシア | バドミントン | スポーツ交流 |
| 大館市 | タイ | ボッチャ・パラ陸上 | 事前合宿 |
| 大潟村 | デンマーク | ボート | 事前合宿 |
| 秋田市 | オランダ | パラ水泳 | 事前合宿 |
| 鹿角市 | ハンガリー | テニス | スポーツ交流 |
| 能代市 | ヨルダン | パラ陸上・パラ卓球・ パラパワーリフティング | 事前合宿 |
| にかほ市 | リベリア | 未定 | スポーツ交流 |

第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催事業について【新規】

スポーツ振興課

1 目的

「第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会」を開催することにより、本県スキー競技の競技力向上や地域活性化を図る。

2 概要

全国から選手・監督など約4千人が参加して行われるスキー競技が円滑に実施できるよう、開催地である鹿角市や県スキー連盟等、関係機関との連携により、大会を開催する。

【大会概要】

- ・大会名：第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会
- ・会期：令和4年2月17日（木）～20日（日）（4日間）
- ・開催地：鹿角市・花輪スキー場
- ・競技種目：①ジャイアントスラローム
②クロスカントリー
③スペシャルジャンプ
④コンバインド
- ・実施主体：（公財）日本スポーツ協会、文部科学省、秋田県、
（公財）全日本スキー連盟、鹿角市

3 予算額

100,990千円

（1）大会開催費（県執行分）

15,660千円

| | | |
|-----|-----------|---------|
| 内 訳 | ・旅費 | 2,800千円 |
| | ・需用費 | 4,851千円 |
| | ・役務費 | 1,324千円 |
| | ・委託料 | 5,436千円 |
| | ・使用料及び賃借料 | 1,249千円 |

（2）大会開催地市町村交付金（鹿角市執行分）

85,330千円

（負担金補助及び交付金）